

毎日時間に追われていた。1日子どもと一緒に過ごす、夏休みの40日間は、すごく長かった。今のお母さんは、自分の時間が作れていいよね。」と同世代のお母さんと話したりもしますが、このように障がい児支援の強化が図られたのも、障がい児・者の取り巻く環境が大きく改善されたのも運動体としての親の会活動を展開してきた成果です。

また、未曾有の事態となったコロナ感染症に対しても、全国手をつなぐ育成会連合会からは国へ、大阪市手をつなぐ育成会からは大阪市へ、それぞれ障がいのある方の支援や対応について要望書を提出しました。この先も何が起こるかわからない、そんな不測の事態にも知的障がいのある人の暮らしを守るための育成会運動は、大きな役割を担っています。

全国手をつなぐ育成会連合会から発信されているように、会員みんなが一丸となって、障がい者の権利を守る運動と育成会の活性化に向けて、先を見据えた息の長い活動を行っていくことが大切だと思います。

大阪市育成会も2年以上に及ぶコロナ禍のため、活動を制限せざるを得ない状況でしたが、徐々に感染者が減少し、感染対策に気をつけながら社会活動も行えるようになってきました。その中で先月には、3年ぶりに育成会大会を開催することができました。式典で多くの来賓の皆様のご臨席を賜り、会場にも多くの会員の皆様にご参加いただき「これぞ育成会！」という思いが込み上げました。今回の大会テーマは「住み慣れた地域で暮らし続ける」でしたが、制度やサービスが充実してきたとはいえ、親亡き後、住み慣れた地域で、安心して心豊かに暮らしていくためには、周りの人々の障がいに対する理解を深めることこそが重要です。大阪市育成会の「キャラバン隊 YO〜おこし」の啓発活動を通して、一人でも多くの理解者を増やし、共生社会の実現に向けて努力していきたいと思えます。

子どもの幸せを願う親心を力とし、今後も皆様とともに育成会活動の歩みを止めず進めてまいりたいと思えますので、変わらぬお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年6月22日に開催された理事会において、理事長以下三役が選任されましたのでご報告いたします。

【理事長】 長谷川 美智代 (難波支援学校支部)

【副理事長】 上宮 俊一

(大阪市手をつなぐ育成会 事業統括)

中島 由紀子 (東育成園支部)

【常務理事】 角森 佐岐子

(大阪市手をつなぐ育成会 メープル管理者)

第10回エル・チャレ甲子園が開催されました!

法人本部 事業統括 上宮 俊一

「(愛称)エル・チャレンジ」(大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合)は、知的に障がいがある人の雇用を進めるための事業体です。1999年に当法人のほか、(社福)大阪手をつなぐ育成会、(株)グッドウィルさかい、(株)ナイスの4者で結成されました。当初から実現性の高い清掃業務に着目し、就労訓練、雇用の確保、定着指導に至るまで一貫したプログラムを実践してきており、これまで1,000人以上の就職者を送り出すなど、大きな成果が現れています。

エルチャレ甲子園は、エル・チャレンジの清掃訓練に携わる訓練生や支援スタッフが、技能の習得状況や訓練成果を発表する年に1度のコンテスト型イベントです。

【エル・チャレ甲子園/開会式】



今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、人数、内容を制限し、7月3日(日)に堺市のビッグ・アイ(国際障害者交流センター)で開催されました。全体4種目(掃き掃除、拭き掃除、窓・机拭き、室内清掃)に25名の方がエントリーされ、日ごろの努力の成果を発揮されました。当法人支部のわかたけ会からも5名の訓練生が参加され、緊張した雰囲気の中真摯に取り組んでおられたところが印象的でした。

競技終了後は各種目上位3名にメダルと表彰状、副賞が授与されました。また各種目の金賞受賞者には、大阪府知事からの表彰状も授与されています。参加者の皆さま、お疲れ様でした。

【エル・チャレ甲子園/掃き掃除競技】

